

The background image shows a large, multi-story school building with many windows. In the foreground, there is a green lawn and a playground with colorful equipment. A clock tower is visible on the left side of the building.

令和6年度

横浜市立上郷小学校

学校説明資料

上郷小学校 教育目標

自分がすき、友だちがすき、
明日にはばたく上郷の子

知

学ぶ楽しさと創り出す喜びを通して、
自ら学び、考え、判断できる
子を育てます

体

自他の生命を尊重し、
健やかな体をつくること
ができる子を育てます

開

日本の伝統や文化を
大切に、社会の変化に関心
がもてる子を育てます。

徳

礼儀やきまりを重んじ、
相手を思いやる心をもって
行動できる子を育てます。

公

自分の育った地域を
大切に、地域に愛着が
もてる子を育てます。

中期学校経営方針

学校教育目標のもと

豊かな心

健やかな体 確かな学力

上郷中フロック子ども憲章

いじめをなくす
きれいな環境を保つ
ルールを守る
地域のよさに気付く

主体的・対話的な学びの充実
規範意識や道徳的な価値観の育成

地域と関わる

連携に力を入れて「つながり」から学ぶ

「授業」のつながり 「人」のつながり 「学びの場」のつながり

- ・幼・保・小連携推進（近隣幼稚園・保育園との連絡・連携）
- ・横浜型小中一貫教育の活動
（上郷中ブロック・・・上郷中・庄戸小・上郷小）
→ 子どもサミット・合同授業研究会など、
さまざまな活動を連携して行っています。
- ・地域の方々との連携
- ・学年に応じた出前授業や校外学習

令和6年度 児童会スローガン

**いつでもチャレンジ！
みんなで協力 上郷小**

5月25日（土）第19回 運動会

11月 9日（土）上郷音楽会

児童会スローガンのもと、子ども達が力を発揮できる
よう支援していきます。

評価 ～評価の観点・あゆみ～

令和2年度より、各教科の目標及び内容が、資質・能力の3つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）になりました。それを受け、学習の評価観点も3観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」とします。

【各教科の学習の様子】

教科目標に対して
観点別の実現状況

十分に満足できる＝◎

満足できる＝○

努力を要する＝△

教科別評定（3年生）以上

十分に満足できる＝3

満足できる＝2

努力を要する＝1

ただし1年生の1学期は

満足できる＝○

努力を要する＝△

の2段階で評価します。

【総合的な学習の時間の様子・外国語活動の様子・総合所見（学年末のみ）】

各教科・道徳・特別活動・行動など学校生活全体にわたって見られる子どもの様子が書いてあります。

総合的な学習の時間は3年生以上、外国語活動の様子は1～4年生です。高学年の外国語は教科の評価になります。

【特別活動の様子・行動の様子】

趣旨やねらいに対しての実現状況

十分に満足できる＝○

※評価の観点やあゆみの見方については、別途お便りでお知らせします。

児童支援専任について

- 担任はもたずに、全校の児童に関わります。
- 不登校、発達障害、人間関係上のトラブル、家庭での不安等様々な課題を抱える児童・保護者の困り感に寄り添い、課題解決のために組織的対応を行うコーディネートをします。
- 小中連携の窓口にもなっています。
- いつでも気軽に声をかけてください。

<例えば、こんなことも…>

- いじめ・暴力防止への対応
- 教育相談活動
(児童・保護者・カウンセラーとの連携)
- 人間関係調整力の育成
(横浜プログラムの推進・実践)
- 社会資源活用のための連携の窓口
(地域、幼・保・小・中、児童相談所、警察、区役所、療育センター等)
- 上郷のきまり 周知・徹底
(規範意識の醸成)

横浜市立上郷小学校いじめ防止基本方針

平成26年 2月策定
令和6年 3月改定

いじめ防止に向けた本校の考え方

いじめの定義

法第2条にあるように、「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」をいう。

いじめを防止するための基本的な方向性

- ・いじめはどの児童にも起こる可能性があり、重大な人権侵害行為であることを意識してアンテナ高く状況を把握することに努める。
- ・被害児童の救済を第一に考え迅速な対応（事実の確認・心のケア・保護者への説明等）を適切に行い、児童に及ぼす影響を最小限にするとともに、被害の拡大を防ぐ。
- ・二次被害を防ぐために、当該児童の人権やプライバシーを守ることに十分配慮する。
- ・いじめを防止するために、児童の健全育成を図り、学校・保護者・地域がそれぞれの役割を自覚し、協力して活動することに努める。
- ・家庭や警察、児童相談所等の機関と丁寧な連携を図る。

学校いじめ防止基本方針の目的

法により規定されたいじめの防止、解決を図るために、児童の健全育成を図り、いじめのない学校づくりの実現を目指すことを目的とする。

「いじめ防止対策委員会」の設置及び組織

いじめ防止対策委員会

*校長・副校長・教務主任・児童支援専任・養護教諭・主幹教諭を構成委員とし、方針の立案・見直し、対応等を決める。随時、関係学年主任、SC、SSWなども必要に応じて加わる。

児童指導委員会

- 主に「学級づくり」「いじめの早期発見」「初期対応」等にかかわる。
- ・「YPアセスメント」活用
- ・教育相談等他機関との連携
- ・校内対策チームの立ち上げ等

組織の役割

- ・被害児童からの聞き取りと心のケア
- ・被害児童の意向を生かした正確な実態把握と加害者への聞き取りおよび指導
- ・被害児童の保護者への説明および意向確認
- ・被害児童の保護者の意向を生かした加害児童の保護者への説明および指導の依頼

年間計画

月	内容	実施内容
4月	学級開き、個人面談①、学級風土・学級（目標）づくり	
5月	いじめ防止への早期取り組み	記名式アンケート実施
6月	学級等経営案作成、児童理解研修	YPアセスメント
7・8月	個人面談②、子どもサミット・横浜こども会議	アンケート
9月	学・家地連	
10月	学級等経営見直し	
11月	学校公開日（上郷音楽会）	YPアセスメント
12月	いじめ防止月間の取り組み、人権週間	無記名アンケート実施
1・2・3月	学校公開日、1年間の振り返り、新年度への引継ぎ	YPアセスメント・アンケート

※教育相談・教職員等の研修は適宜行う。

いじめ防止及び早期発見のための取組 **いじめ未然防止への取組**

～魅力ある学校づくりをめざす～いじめが起きにくい学校風土・学級風土～

- ・主体的に取り組む活動を通して「自己有用感」を高める。
- ・上郷小のきまりを守ることで、規範意識を高める。
- ・だれもが安心して参加でき、自尊感情を高める授業づくりの研究。

いじめの早期発見

- ・個別面接や行動観察
- ・児童に対する定期的なアンケートの実施
- ・児童・保護者がいじめに関わる相談を行う窓口の設置
- ・職員間の情報共有

教職員等の研修

いじめ事案研修

- ・人権教育研修
- ・Y P アセスメント研修
- ・児童理解研修
- ・ネット防犯研修 等

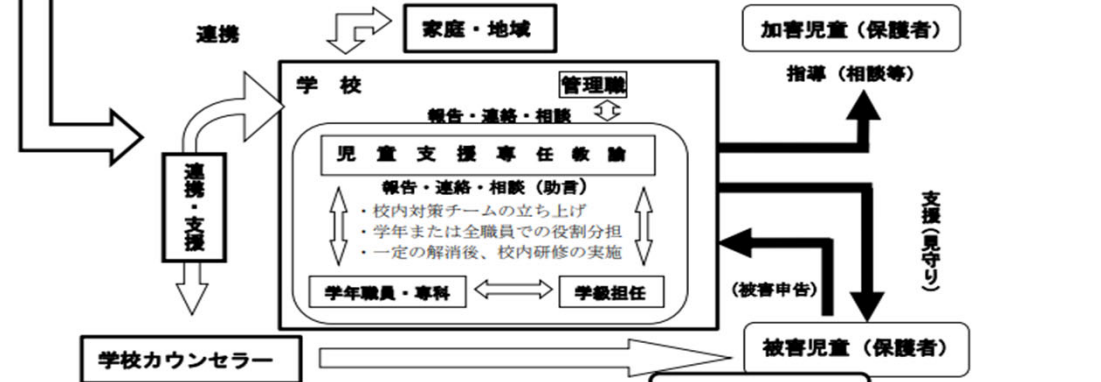
初期対応

いじめに対する措置

いじめの疑い

- 校内対策チームの編成：事実把握と指導方針等の検討
- 校内対策チームの役割分担：情報集約、記録、保護者対応等の明確化
- 二次的なトラブル想定：防止対策の徹底

- 1 被害児童からの丁寧な聞き取りと心のケア
- 2 被害児童の意向を生かした正確な実態把握と加害者への聞き取り及び指導
- 3 被害児童の保護者への説明及び意向の確認
- 4 被害児童の保護者の意向を踏まえた加害児童の保護者への説明及び指導の依頼



重大事態の定義

いじめにより学校の在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき
 いじめにより学校在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき

いじめ防止対策の点検・見直し

○学校基本方針の見直し：必要であると認められる際には、学校経営改善協議会や「いじめ防止対策委員会」で見直し・改訂を行い、あらためて公表する。(急務の場合は、その限りではない。)

重篤ないじめ対応

- 教育委員会・学校教育事務所報告
- ・スクールソーシャルワーカー(SSW)派遣要請
- ・学校課題解決支援チーム発足
- 再発防止も含めた調査 ○他機関と連携
- SSW コーディネートによる支援検討会
- 児童・保護者への説明

いじめ解消の条件

- ①いじめ行為が少なくとも3か月(目安)止んでいること
- ②いじめを受けた児童が心身の苦痛を感じないこと

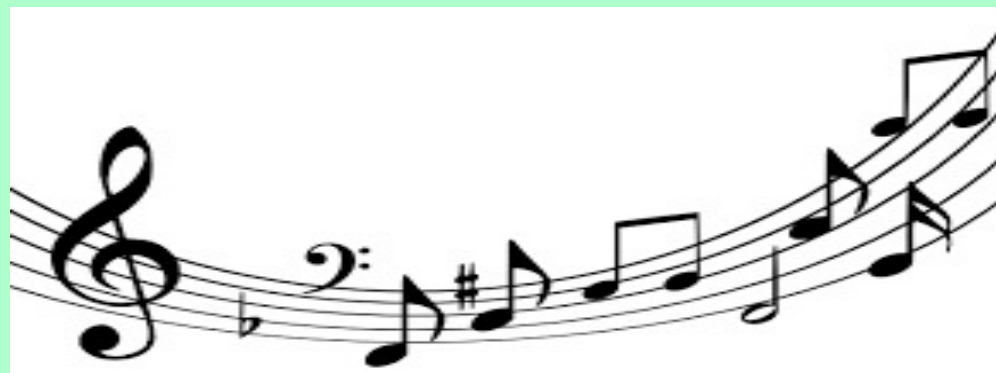


歌え上郷合唱クラブ

活動目的について

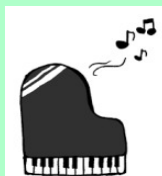
発表に向け、聴くことを大切にしながら合唱活動を行います。

対象は、4・5・6年生です。



練習曜日 木曜日

活動時間 13:30~14:00



令和6年度の発表予定

敬老の集い
キラキラフェスタ
上郷音楽会
音楽朝会



低学年の具体的な目標

知

何にでも興味をもち、対話を楽しみながら、意欲をもって学ぶ子を指します。

体

進んで体を動かしたり、衛生に気をつけたりできる子を指します。

開

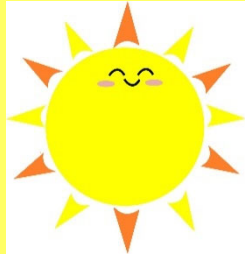
様々な活動を通し、日本と世界の文化に関心をもてる子を指します。

徳

きまりを守り、自分のよさ・友達のよさを見つけ、相手の気持ちを考えて行動できる子を指します。

公

地域の人々との関わりを通して、進んで人に関わろうとする子を指します。



スマイル

2年生と一緒に

学校のいろいろなところを案内をしてもらい、どんな教室があるのか、どんな人がいるのかを学んでいきます。



小学生として最初の一步をふみ出すため、たくさんの方が関わって学校生活をスタートします。学校大好き！と言えるように学校全体で支えます。

6年生と一緒に

掃除の仕方を教わりながら、きれいな環境ですごすよさを学びます。

なかよし班活動

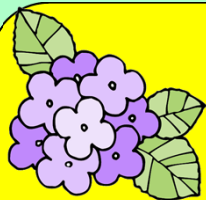
1年生から6年生までが縦割りの班を作って、仲良く活動します。

職員や地域と

学校職員、地域、幼保小交流など、関わりを大切にします。



なかよし



誰もが安心できる楽しい学校生活。
一人一人が個性を發揮しながら生き生きと学ぶ。
成長する喜びを感じられるように。

温かい関わり

日々の様々な出来事を通して、友達との温かい関係作りを学びます。

学ぶ喜び

自分の考えをもち、友達と伝え合うことで、互いの個性を大切にしながら学びます。

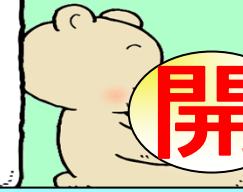
1年生と一緒に

学校探検などを通して1年生と関わります。下級生との関わりを通して、自らの成長に気づき、喜びを感じられるようにします。



知

中学年の具体的目標



開

体

学習内容に関心をもち、対話のよさを感じながら、問題解決に向けて意欲的に取り組む子を目指します。

徳

きまりを守り、自分のよさ・友だちのよさを見つけ、お互いに認め合って行動する子を目指します。

食事・すいみん・運動の大切さを理解し、元気に生活する子を目指します。

様々な活動を通し、日本と世界がつながっていることを知り、社会に興味をもつ子を目指します。

公

人や地域・自然を大切にし、地域の特徴を理解して、そこで働く人たちに進んでかわる子を目指します。

3学年

力いっぱいチャレンジ！！

中学年になった3年生。理科、社会、習字など新しいことがたくさん始まります。新しいことも、少し苦手だと思ふことも、子どもたちが自分なりの力を発揮して「チャレンジ」ができるように支援していきます。

進んで行動しよう！

言われたことをやる、
ができてきたら、言われ
る前に自ら考え、行動
できるような子どもたち
を目指します。そのため
に、自ら考えてやろうと
した過程を認めていき
ます。

話を聴こう！

相手の話を聴く姿勢が
意識できるようにします。
自分の理解だけでなく、
「どのように聴くと相手があ
れしいか、安心するか。」
という相手の気持ちも想像
できるようにしていきます。

お互いを認め合おう！

色々な教科の学習や
行事を通して、学校や
まちと関わり、自分の
よさと友だちのよさ、学
校や地域のよさに気づ
き、大事にしようとする
気持ちの醸成を目指し
ます。



上郷小学校の高学年としてカッコよくなりたい！
子どもたちのそんな願いから4つの目標をつくりました。

考える

今なにをすべきなのか。まずは、自分のすべきことを判断する。その上で、友達と一緒に考えたり、クラス全体で考えたりする力を伸ばしていきます。

行動する

失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく行動力を伸ばしていきます。
また、失敗をはげましあえる温かい学年を目指していきます。

協力する

友達のため、クラスのため、学年のため、下級生のため。
誰かのために動ける力を伸ばしていきます。

支える・支えられる

うまくいかないとき、誰かが支えてくれる学年を目指します。誰かを支えてあげることで、自分の心が豊かになることを学んでいきます。

子どもたち一人ひとりが4つの目標を意識し、最高の1年間を送れるように支援していきます。

高学年の具体的目標

知

自ら問題を見出し、豊かな関わり合いを通して、周りと協力しながら問題解決に向かう子を目指します。

体

体の健康を守るため、正しい生活習慣を送る子を目指します。

開

日本と世界の社会や歴史、文化を学ぶ活動を通して、国際社会に目を向ける子を目指します。

徳

きまりを守り、自分や相手のよさを見つけ、互いを尊重し合い行動できる子を目指します。

公

地域の環境や特徴を理解し、そこで生活する人たちと進んでかかわる子を目指します。



学年テーマ

いっいね!

込めた思い

日々の活動はもちろん、行事や委員会の中で、「自分のよさや友だちのよさに気付ける」子どもたちになってほしいという思いを込めました。また、「よいと思うことを自分で判断し、行動につなげられる」ように支援していきたいと思います。高学年は、任される仕事も多くなり忙しくなりますが、苦しいときは共に支え合い、嬉しいときは共に喜び合い、みんなで成長していきたいと思っています。



最高の5年生に

自分がよいと思うことを進んでやっていくことが、高学年としての責任です。また、下級生の見本になることも高学年の仕事です。高学年になった自分達に「できること」と「やるべきこと」を考え、実行していく1年間です。



学校の「顔」として

5年生は、最高学年への準備期間だと考えています。6年生の姿をよく見て、学び、学校生活に生かしていきます。高学年としてやる気に満ちている子どもたちと一緒に、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

5年生の学習

5年生から、家庭科と外国語の新しい教科が始まります。家庭科では、裁縫や栄養などの学習を通して、家庭生活を振り返ります。外国語は、5年生から教科書を使っての学習になります。区球技大会や教科の出前授業なども予定しています。



6学年

学年テーマ

Find out!
発見しよう

込めた思い

学校のリーダーとして、自分も友達も大切に行動する！

『Find out!』は、発見するという意味がある。最上級生として今まで以上に果たすべき責任が大きく、求められるも高くなる。だれかのために行動することに心地よさを感じ、仕事の中にも楽しみを見つけられるようになってほしい。
⇒卒業の日の姿をイメージし、失敗と挑戦を繰り返しながら成長してほしい。



1年生のサポート

学校生活にまだ慣れていない1年生のお助けマンとして活動します。例えば、教室での荷物整理のお手伝いをしたり、給食の時に牛乳パックの開き方を教えたり、休み時間に一緒に遊んだりします。これらの取り組みで最高学年としての意識を高めていきます。

なかよし班活動

1年間、6年生がリーダーとなり、班活動を計画・運営します。見通しをもって活動する力や主体性、下級生のことを思いやる力や協調性を養っていきたいと思います。



日光の旅



修学旅行

例年、栃木県日光市に行っています。歴史的遺産の数多く残る地で多くを学び、修学旅行として友達との絆を深めていきます。

卒業に向けて

卒業文集や卒業アルバム製作を作ったり、その他に何かできるか考えたりして子ども自身が主体となり、自分たちの卒業を「最高」にするための取り組みを行っていきます。



たてわり学習

上級生が下級生をサポートし、下級生は上級生の姿をお手本にしながら活動することで一人ひとりが自信をもって学習に取り組んでいます。

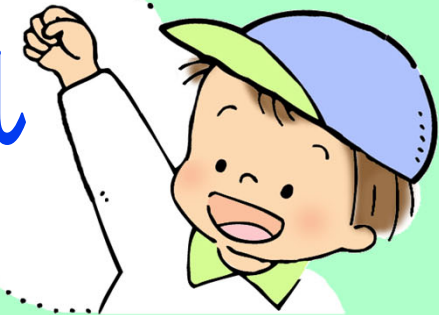
たてわりや
体験を
重視した活動

体験を通じた学習

学年園で育てた野菜を使って調理をしたり、先生方に向けて販売したりしていく体験を通して、自立に向けた活動を行います。

個別支援学級

しっかりあいさつ っこりえがお いつもなかよし
4組のなかま



教科によって、交流級で学習します。行事は交流級で参加し、色々な友達と協力します。

一人ひとりに
合った学習内容
や学習形態

教科によって、発達段階に合わせた少人数グループで一人ひとりに合った学習をします。

交流級での学習

個々に合わせた学習